暮らしているみんなに情報を届けたい

ふれあいだより

広報誌

FUREAI DAYORI

2026年　11月号◇　第74号



朝晩の冷え込みに冬の気配を感じるようになりました。
木々の葉も色づき、秋の深まる時季、各地で紅葉も見頃を迎えライトアップも始まりますね。
体調に気を付けながら実りの秋、スポーツの秋を楽しみ、お元気にお過ごしください。

今月号もくじ

①新任のご挨拶
②医療と介護の相談
③子ども落語教室発表会／出前講座開催
④ふれあいサロン
⑤暮らしのことはじめ
⑥病院の会計をスムーズに！
⑦現在募集中の企画



ふれあい便りはネットにも掲載しています

鎌倉市地域包括支援センターふれあいの泉
発行日令和8年11月1日

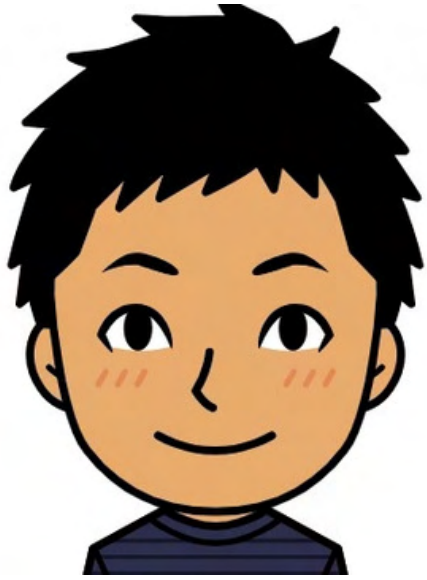
住所：鎌倉市今泉2-4-10　TELL：0467-43-5977
https://www.reijukai.or.jp/

「新任のご挨拶」

はじめまして、麻生 大輔（あそう だいすけ）と申します。以前は特別養護老人ホームや介護老人保健施設、デイサービスなどで介護職員として従事しておりました。「人のためになりたい」という想いで福祉・介護業界に身を置いてきましたが、施設ご利用者と接している中で、より幅広く困っている方々のお手伝いがしたいという想いが強くなり、この度縁あって地域包括支援センターふれあいの泉で勤務することになりました。まだまだ半人前ではありますが、責任感と行動力、そして今まで培ってきた経験・知識をフル活用し、地域の皆様のお役にたてるよう努めてまいります。

休日にはマリンスポーツや登山、キャンプを楽しんでいます。歩くことも好きで、これと言って意味もなく横浜の桜木町駅から町田市の成瀬駅まで歩いたこともあります。2年前からは、神社仏閣を巡って御朱印集めもしています。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



麻生職員　イラスト





「医療と介護の相談」

9月２５日今泉台町内会会館において「医療と介護の相談」を行いました。
今回は湘南高齢者住宅紹介センターの荒木氏を講師に招き、「医療に強い有料老人ホーム説明会」を開催いたしました。
説明会では、病院のホスピス病棟と有料老人ホームにおけるケアの違いや、気になる費用面についてプロの視点から分かりやすくご解説いただきました。
24時間の医療・介護連携による手厚いターミナルケアに加え、自宅のような自由度の高い暮らしが叶うホームならではの強みなど、具体的な比較に皆様熱心に耳を傾けておられました。参加者からは、「制度がわかりにくい」「身近なサロンでじっくり聴けて良かった」「紹介センターという相談先がわかり良かった」等のお声をいただきました。

◆ 湘南高齢者住宅紹介センター◆
TEL：0466-23-4050



「子ども落語教室発表会」

９月２５日　特別養護老人ホームふれあいの泉で、６＋カフェ(ロクプラスカフェ）で行われている子ども落語教室発表会が開催されました。

会場には多くの入居者が集まり、小学生が登壇。堂々とした語り口と愛らしい仕草で「寿限無」や「猫の皿」といった名作の古典落語に加え、個性あふれる新作落語も披露されました。堂々とした語り口と愛らしい仕草に、会場は終始あたたかい笑い声と拍手に包まれました。子どもたちが繰り出す軽妙なオチに、入居者からは「元気をたくさんもらった」「上手で驚いた」といった歓声があがり、世代を超えた心温まる交流の場となりました。

※イラストはイメージ画像です。



「岩瀬マンション、出前講座を開催しました！」

１０月３日、藤和鎌倉岩瀬ホームズの集会室にて出前講座を開催し、20名を超える住民の皆様にご参加いただきました。１回目は「車いす体験」２回目は「認知症サポーター養成講座」を前年度に行いました。３回目となる今回は、日頃の暮らしや将来の安心に役立つ4つのテーマについてお話ししました。

① 地域包括支援センターについて：地域の方の身近な相談窓口であり、介護・健康・権利擁護など、お困りごとがあればお気軽にご相談くださいとお伝えしました。

② 介護保険制度について：サービスの利用手順や要介護認定の流れ、自宅や施設で受けられるサービスの概要をご紹介しました。

③ 成年後見制度：認知症等により判断能力が低下した際に、金銭管理や契約手続きを支援・保護する仕組みを解説しました。併せて、任意後見制度の内容や法改正の概略について説明をしました。

④ 遺言の基礎知識：自分の意思を正確に遺し、残されたご家族の負担やトラブルを減らすためのポイントをお伝えしました。自筆証書遺言と公正証書遺言の違いについてもご説明しました。

参加者の皆様からは熱心なご質問も多くいただき、大変有意義な時間となりました。

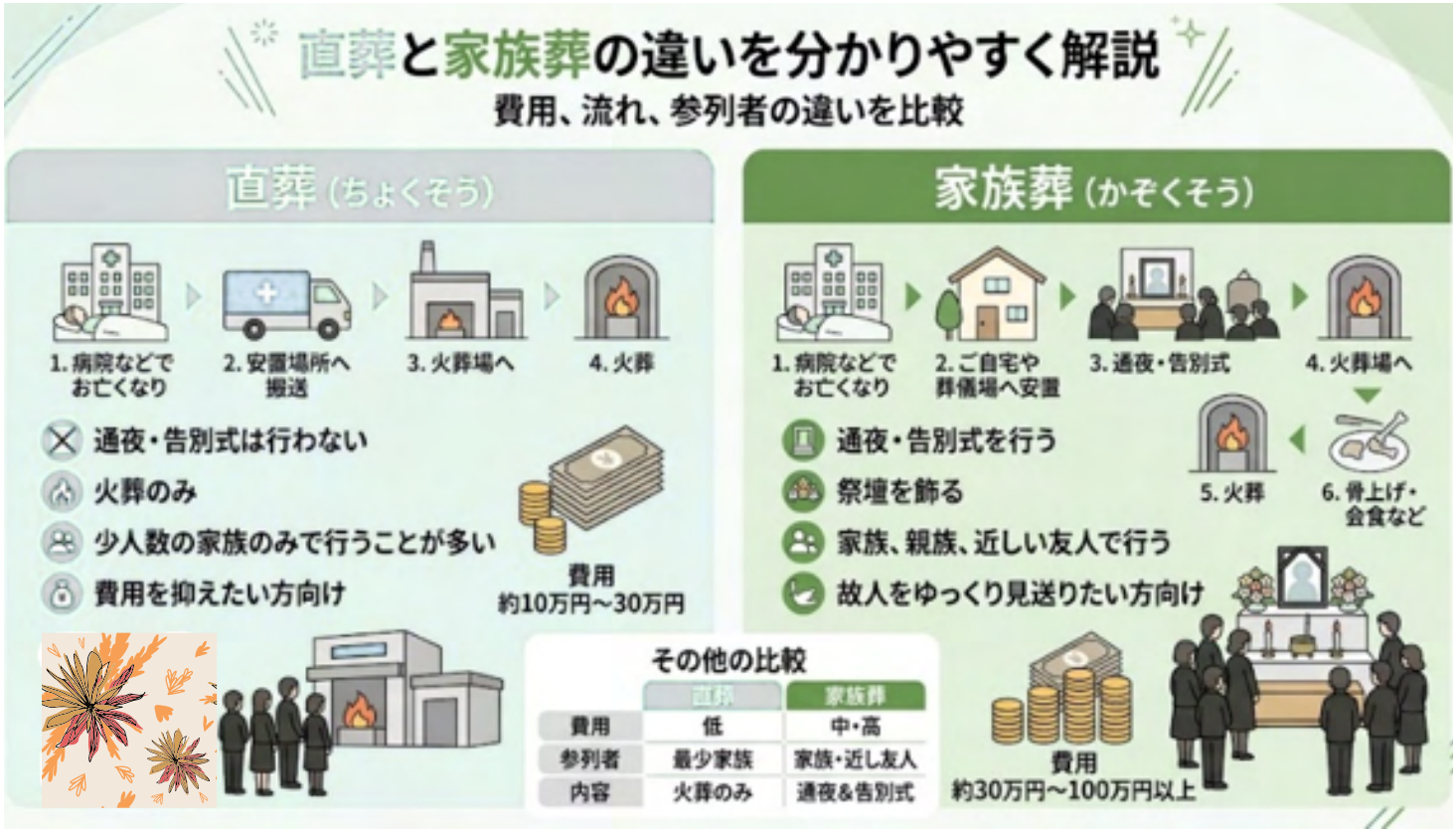
今後も地域の皆様の「安心な暮らし」を支えるため、定期的に出前講座を実施してまいりたいと思います。



ふれあいサロン「最近の葬儀事情」

9月29日、ふれあいサロンにて大船にある「鎌倉ファミリーホール」の方を講師にお招きし「最近の葬儀事情」をテーマにした講座を開催しました。
近年はライフスタイルや価値観の変化に伴い、葬儀の形が急速に多様化しています。講座ではまず、参列者を限定して通夜・告別式を行う「家族葬」と、式を行わず火葬のみで見送る「直葬（火葬式）」の違いや費用感について整理しました。あわせて、仏門に入った証である「戒名」の意味や宗派ごとの役割、菩提寺との付き合い方といった基本的な考え方の話がありました。（戒名に関しては参加者から質問に回答して頂きました）
次に、ご家族事情、や自然志向の高まりから関心を集める「樹木葬」や「海洋散骨」といった新しい供養のカタチのほか、費用負担を抑えた低価格な葬儀プランの活用法や注意点についても解説頂きました。
最期に墓じまいについての話がありました。いずれも、日ごろからの菩提寺との付き合いが大事なことや、ご家族と自分の葬儀に関して話し合うことが重要だと感じました。また、葬儀社選びに関しても、対応や金額の差異があり、事前にご相談をしておくことも大事だとの話もありました。　◆鎌倉ファミリーホール◆

TEL：0467-45-4141



「暮らしのことはじめ　最期シリーズ」

三世代家族から核家族となり、
ひと家族４人平均であった時代から
2人平均と変わっています。
夫婦二人暮らしや、親子、または
一人暮らしも増加している中では、
どのように最期を迎えるかも考え
なければならない時代となって
います。時代背景も変わり、
「血縁」（家族・親族）だけではなく
「地縁」（同じ地域に暮らす人々との
つながり）が必要となっている時代
であるとも言えることから、今回の
「暮らしのことはじめ」は
最期シリーズとして、人が住み慣れた
地域で暮らし続ける為にはどのような
支援を必要としているか、



一度立ち止まり考える機会になればと思います。
会社（社縁）を退職した後や、独身・DINKS（子を持たない夫婦）世帯が増加する中、地域活動や町内会、趣味のコミュニティなど「地縁」に基づくつながりが、孤立を防ぐ受け皿になります。孤立、孤独となることなく、住み慣れた地域で最期まで、平穏無事に暮らし続けるとはどういったことか。
それを皆さんと一緒に確認できる機会に慣れればと思います。
もし宜しければ、別紙チラシの日程で開催いたしますので、ご参加のほどお待ちしております。

「病院の会計をスムーズに」

体調が悪いときや、ご高齢の方の通院で「診察後の会計待ち」が長くて大変……と感じたことはありませんか？

最近では、地域の一部の医療機関で、会計待ちをなくすサービスが導入されています。その中の一つの「クロンスマートパス」をご紹介します。

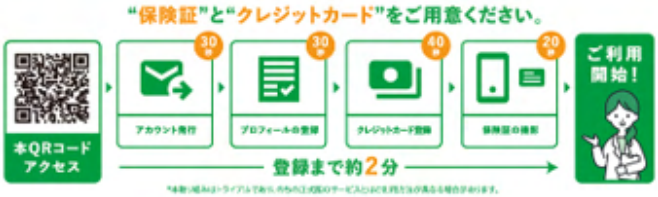


◆ どんなサービス？

事前にスマートフォンへクレジットカード情報を登録しておくことで、診察が終わったら会計を待たずにそのまま帰宅できる無料のシステムです。

医療費は後日、登録したカードから自動で決済されます。





◆ こんな方に便利です！

・体調が悪く、診察後すぐに自宅で休みたい方

・付き添いのご家族の負担（待ち時間）を減らしたいとき

・混雑した待合室での感染症リスクを避けたい方



◆ 離れて暮らすご家族のカード登録も可能

ご本人がカードを持っていなくても、ご家族のクレジットカードを登録して支払いをまとめることもできます。

◆ 利用方法は？

アプリのダウンロードは不要で、登録料・利用料もかかりません。かかりつけの病院やクリニックが対応しているかは、ぜひ一度確認してみてください。

開催予定のイベント紹介！

「募集中　地域活動のご案内」

















